

2015年3月期第2四半期 決算説明会

日本通運株式会社
代表取締役社長 渡邊 健二

I. 経営状況	P. 1-
II. 外部環境の変化	P. 11
III. 経営計画の進捗状況	P. 12
IV. 2015年3月期通期の業績予想	P. 13-

2014年10月31日

I. 経営状況

A. 2015年3月期第2四半期決算の概要

1) 概要（連結）

（単位：億円、％）

	2015/3期 上半期実績 ①	2014/3期 上半期実績 ②	増減額 (前年比) ③=①-②	増減率 (前年比) ④=③÷② x 100	上半期予想 (5月8日発表) ⑤	差額 ⑥=①-⑤	率 ⑦=⑥÷⑤ x 100
売上高	9,192	8,357	834	10.0	9,000	192	102.1
営業利益	202	174	27	15.7	200	2	101.0
経常利益	250	223	26	11.7	240	10	104.2
当期 純利益	160	74	86	115.7	160	0	100.4

（億円未満切捨て）

2) 連結経営指標

第2四半期累計

（前年同期実績）

・売上高営業利益率	2.2%	(2.1%)
・売上高経常利益率	2.7%	(2.7%)
・ROE	6.4%	(2.9%)
・ROA	2.3%	(1.2%)

I. 経営状況

B. 財政状態

(単位：億円)

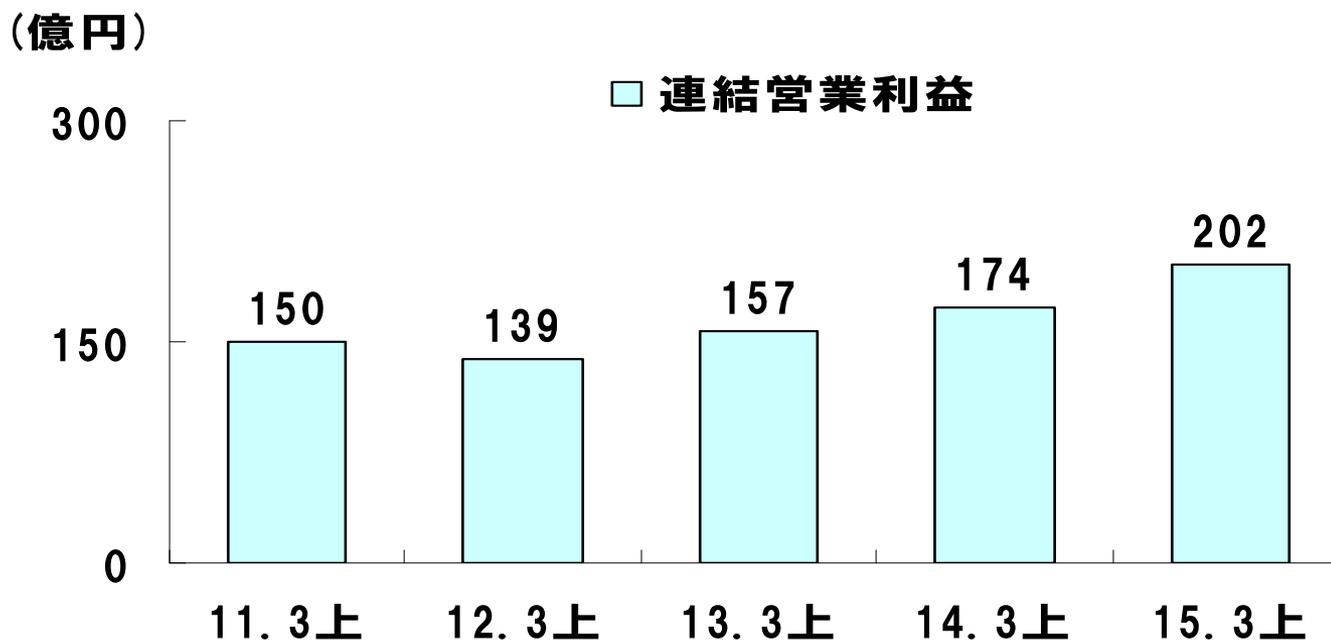
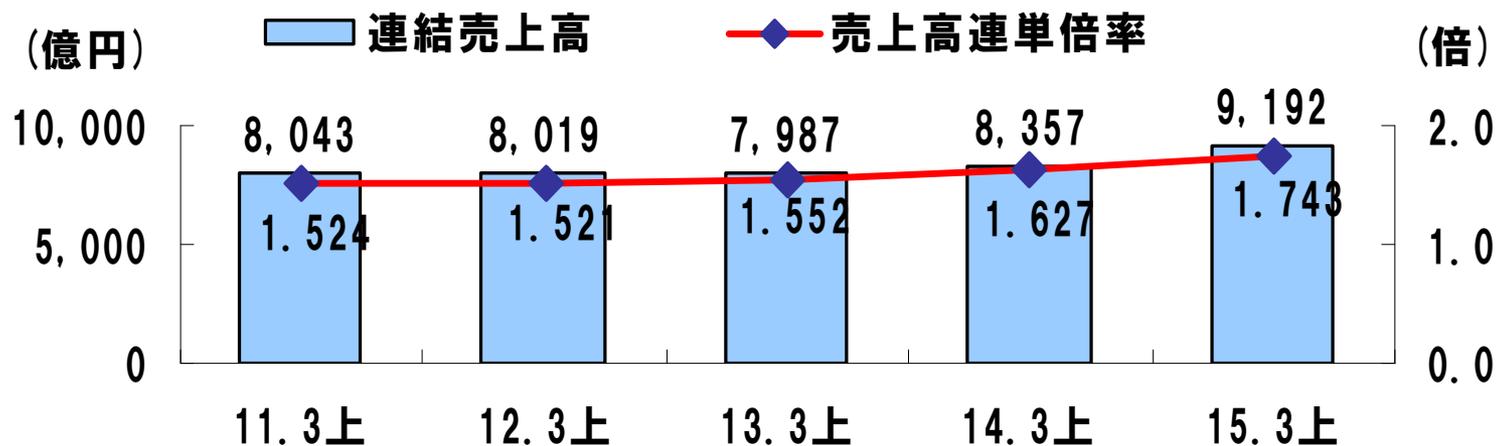
	2015/3期上半期	2014/3期	増減
総資産	13,745	13,774	△29
自己資本	5,044	4,958	85

C. キャッシュ・フローの実績

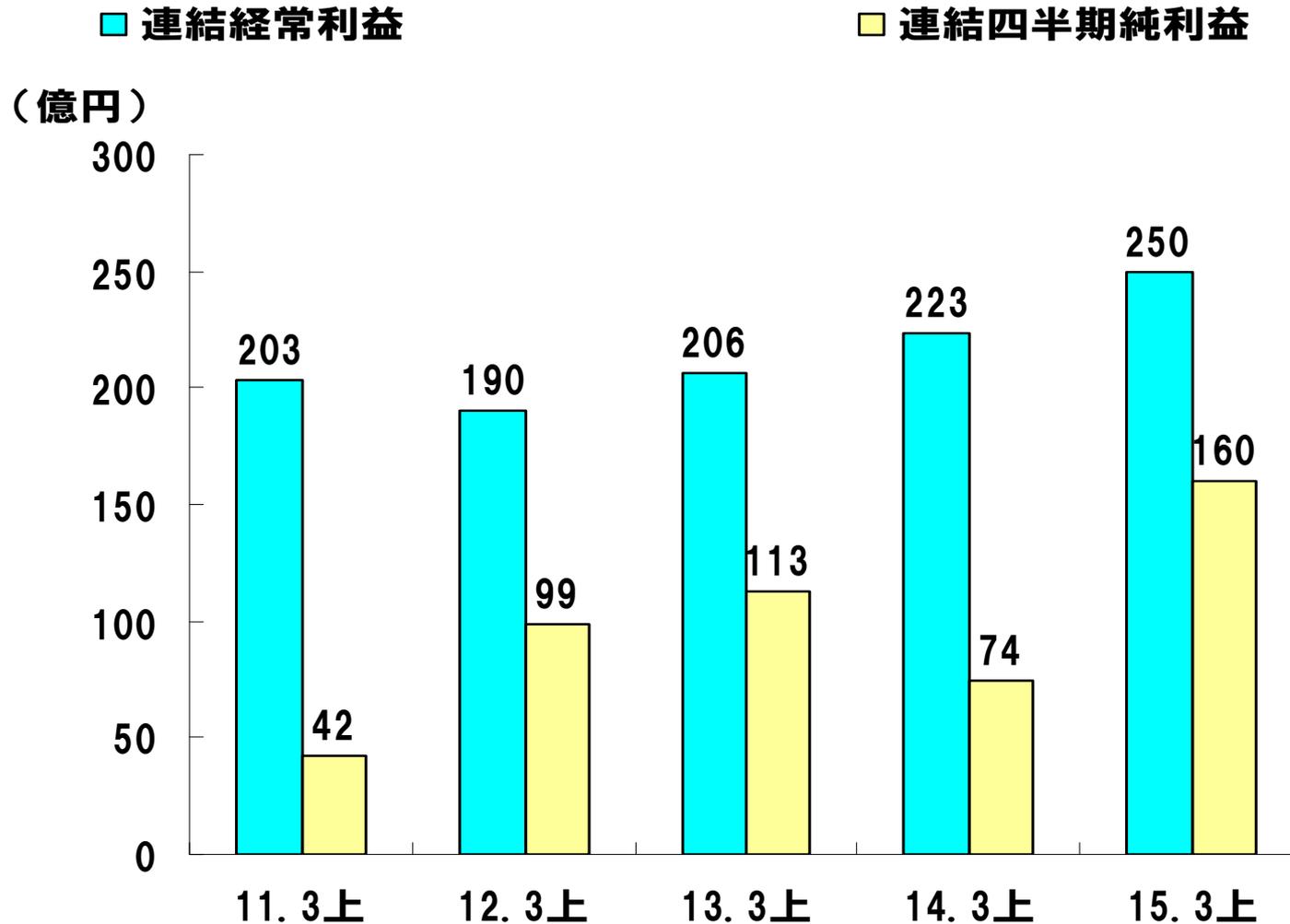
(単位：億円)

	2015/3期上半期 実績 ①	2014/3期上半期 実績 ②	増減額 (前年比) ③=①-②
営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	211	164	47
投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△185	△214	29
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	26	△50	76
財務活動によるキャッシュ・フロー (C)	△93	255	△348
現金及び現金同等物に係る換算差額 (D)	△16	33	△49
現金及び現金同等物の増減額 (A+B+C+D)	△83	237	△321
現金及び現金同等物の期首残高	1,259	1,136	122
現金及び現金同等物の期末残高	1,177	1,374	△197

D. 直近5年間の売上高、営業利益の推移



E. 直近5年間の経常利益と四半期純利益の推移



F. セグメント別状況

1) 複合事業

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
		15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
上半期	売上高	3,655	3,532	122	3.5	3,639	100.5	16
	セグメント利益	64	52	12	23.5	71	90.0	△7
2Q単四半期	売上高	1,846	1,784	62	3.5	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	38	29	9	33.5	2.1 (1.6)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料及び電機関連の荷動きが鈍化、自動車関連も消費増税前駆け込み需要の反動減が影響 ・北海道産農産品の好調な出荷が鉄道取扱の増に寄与 ・期末に、輸送需要の高まりから、トラック輸送やロジスティクス業務を中心とした倉庫・付帯事業が増加 						

2) 警備輸送

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
		15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
上半期	売上高	276	273	3	1.1	277	99.8	△0
	セグメント利益	3	4	△0	△20.3	5	77.5	△1
2Q単四半期	売上高	138	136	1	1.2	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	0	1	△1	△63.8	0.4 (1.2)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の設定便業務が順調に推移 ・社有戦力のみで業務を遂行していることから、人件費上昇により、減益 						

F. セグメント別状況

3) 重量品建設

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
		15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
上半期	売上高	246	181	64	35.7	207	118.9	39
	セグメント利益	11	10	1	10.2	11	100.4	0
2Q単四半期	売上高	118	87	30	34.9	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	5	5	0	5.4	4.6 (5.9)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外プラント工事が順調に売上げを伸長 ・ 国内では、シャット・ダウン・メンテナンス業務、風力発電関連の取扱いが堅調に推移 						

F. セグメント別状況

4) 航空

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
		15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
上半期	売上高	918	881	37	4.3	916	100.3	2
	セグメント利益	25	24	1	5.5	27	93.3	△1
2Q単四半期	売上高	475	445	30	6.8	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	19	13	5	41.7	4.0 (3.0)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・日本発輸出貨物の取扱重量が、前年比二桁のプラスで推移し、輸出が増収に転じる ・輸入貨物、国内貨物の取扱いも堅調に推移 						

5) 海運

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
		15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
上半期	売上高	596	672	△75	△11.3	611	97.7	△14
	セグメント利益	29	33	△4	△12.4	30	95.7	△1
2Q単四半期	売上高	303	333	△29	△8.9	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	13	12	1	14.8	4.6 (3.6)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・設備輸送関連の輸出が下支えをする状況が継続する一方で、太陽光パネル関連の輸入が鈍化 ・商戦期における海外引越の取扱いが、輸出入とも好調に推移し、増益 						

F. セグメント別状況

6) 米州

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
		15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
上半期	売上高	374	335	38	11.6	368	101.7	6
	セグメント利益	17	11	5	49.5	12	134.9	4
2Q単四半期	売上高	191	176	14	8.3	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	8	8	△0	△9.2	4.2 (5.1)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコでの自動車関連の海運・輸入フォワーディングの取扱いが、堅調に推移 ・米国での自動車関連の倉庫配送業務やトラック輸送、航空・輸出フォワーディングの取扱いが好調 ・米国からメキシコへの航空・転送業務の減少により、減益 						

7) 欧州

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
		15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
上半期	売上高	395	341	54	15.9	397	99.7	△1
	セグメント利益	10	3	6	171.5	6	170.5	4
2Q単四半期	売上高	198	177	20	11.5	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	5	2	2	104.7	2.8 (1.5)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫配送業務や域内のトラック輸送が苦戦 ・航空・輸出フォワーディングの取扱いが、ドイツ、フランス、オランダを中心に、前年比プラスで推移 						

F. セグメント別状況

8) 東アジア

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
		15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
上半期	売上高	480	420	60	14.5	471	102.1	9
	セグメント利益	7	6	0	4.4	8	89.7	△0
2Q単四半期	売上高	250	223	26	11.8	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	3	4	△1	△20.5	1.6 (2.2)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> 中国では、自動車関連のトラック輸送の取扱いが、前年対比で大幅プラス 香港の航空・輸出フォワーディングの取扱い減少、中国における現地人件費の上昇等により、減益 						

9) 南アジア・オセアニア

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
		15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
上半期	売上高	291	243	48	19.8	285	102.4	6
	セグメント利益	6	5	1	22.4	6	101.9	0
2Q単四半期	売上高	152	128	24	18.9	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	3	3	0	6.8	2.5 (2.8)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体において、倉庫配送業務及び航空・輸出フォワーディングの取扱いが増加 シンガポール、タイでは、重機建設事業も好調に推移する等、売上の増に寄与 						

F. セグメント別状況

10) 販売

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
			15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率
上半期	売上高	2,084	1,903	180	9.5	2,031	102.6	53
	セグメント利益	27	20	7	34.4	23	117.6	4
2Q単四半期	売上高	1,062	989	72	7.4	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	12	10	1	15.8	1.1 (1.0)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・石油類の販売単価が上昇したことにより、増収 ・輸出梱包等のロジスティクス・サポート事業の取扱いが堅調に推移し、増益 						

11) その他

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(5/8発表)対比			
			15/3期	14/3期	増減額	増減率	予想	進捗率
上半期	売上高	538	201	336	166.6	510	105.5	28
	セグメント利益	7	6	0	15.0	6	112.7	0
2Q単四半期	売上高	271	110	161	146.1	2Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	4	4	△0	△1.4	1.8 (4.5)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・日通・パナソニック ロジスティクス社が、前年度第4四半期から連結子会社となり、増収 						

II. 外部環境の変化

増減要素

変動要素	連結（第2四半期累計）	参考
燃油費単価変動による影響	燃油費 8.2億円 （費用増）	（前年同期）
		軽油 : 121.10円/ℓ (112.72円) ガソリン : 152.98円/ℓ (145.92円) 船舶重油 : 73.22円/ℓ (69.37円)
為替（円安）による影響	売上高 98.5億円 営業利益 2.0億円	上半期平均為替レート ^(※) (前年同期)
		USD : 102.47円 (95.59円) EUR : 140.43円 (125.50円) HKD : 13.22円 (12.32円) RMB : 16.65円 (15.47円)

(※) 上半期平均為替レートは参考値。決算では四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用している。

III. 経営計画の進捗状況

日通グループ経営計画 2015 -改革と躍進- 基本戦略の進捗状況

基本戦略	項目	進捗状況
国内事業の経営体質強化	2016年3月期 国内複合事業営業利益率 3%	2015年3月期上半期実績 1.8% (2014年3月期実績 2.1%) (2014年3月期上半期実績 1.5%)
	【10月1日付組織改正】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 航空事業部管内大阪航空支店 ・ 海運事業部管内大阪国際輸送支店 ・ 関西ブロックに、グローバルロジスティクス支店を新設 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> → 関西ブロック地域総括に移管 </div>	
グローバルロジスティクス事業の更なる拡大	2016年3月期 国際関連事業売上高比率 40%	2015年3月期上半期実績 33.5% (2014年3月期実績 32.5%) (2014年3月期上半期実績 32.4%)

IV. 2015年3月期通期の業績予想

A. 連結業績予想 (変更なし)

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	9,192	9,507	18,700	9,167
営業利益	202	247	450	234
経常利益	250	279	530	277
当期純利益	160	139	300	189

IV. 2015年3月期通期の業績予想

B. セグメント別状況 (変更なし)

1) 複合事業

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	3,655	3,782	7,438	3,684
セグメント利益	64	114	179	99
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・三大都市圏での営業力強化、地方圏での拠点の統廃合を含む、地域経済・マーケットの特性に合わせた営業活動を推進 ・料金改定やオペレーション支援システムの活用等により、採算性の向上に取り組む 			

2) 警備輸送

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	276	279	556	273
セグメント利益	3	8	12	6
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・売上げは順調に推移すると見込む ・セキュリティ向上のための車両改修により、一時費用の増を見込む 			

IV. 2015年3月期通期の業績予想

B. セグメント別状況 (変更なし)

3) 重量品建設

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	246	165	412	185
セグメント利益	11	9	21	8
概況	・ 通期で見た場合、売上げ、利益とも順調に推移すると見込む			

IV. 2015年3月期通期の業績予想

B. セグメント別状況 (変更なし)

4) 航空

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	918	943	1,862	936
セグメント利益	25	34	60	31
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・日本発輸出貨物の取扱重量が、回復基調で推移する見込み ・BILT-2(ビルト・ツー)を中心に、ロジスティクス業務の取扱拡大とオペレーション効率の改善を図る 			

5) 海運

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	596	603	1,200	644
セグメント利益	29	15	45	17
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・設備輸送が継続して、輸出取扱いを一定程度、下支えする見込み ・工場完成後の部材輸送の獲得や、既存中堅顧客の深耕及び新規顧客を開拓 			

IV. 2015年3月期通期の業績予想

B. セグメント別状況 (変更なし)

6) 米州

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	374	368	743	355
セグメント利益	17	13	30	16
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラジルにおいて、今年1月に開設した自社運営倉庫で取扱いが増加 ・ メキシコ発ブラジル向け海運フォワーディングの取扱獲得にも注力 ・ 米国では、航空・転送業務の減少が見込まれるが、米国内での倉庫配送業務は、好調を維持する見込み 			

7) 欧州

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	395	438	834	386
セグメント利益	10	0	10	3
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空・輸出フォワーディングの取扱いが、ドイツ、オランダ、スペインを中心に増加傾向が継続 ・ 苦戦をしている倉庫配送業務の改善等も見込む 			

IV. 2015年3月期通期の業績予想

B. セグメント別状況 (変更なし)

8) 東アジア

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	480	522	1,003	501
セグメント利益	7	7	14	5
概況	<ul style="list-style-type: none"> 中国での自動車、電子・電機関連の航空・海運輸出入フォワーディングの需要が回復する見込み 自動車関連のトラック輸送の増加等、中国国内の物流需要への対応を、今後も強化 			

9) 南アジア・オセアニア

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	291	288	580	270
セグメント利益	6	8	15	8
概況	<ul style="list-style-type: none"> タイ、フィリピンでの航空・輸出フォワーディングの取扱いが好調を維持 マレーシア、インドネシアでの倉庫配送業務も堅調に推移 			

IV. 2015年3月期通期の業績予想

B. セグメント別状況 (変更なし)

10) 販売

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	2,084	2,140	4,225	2,224
セグメント利益	27	27	54	27
概況	・ ロジスティクス・サポート事業が堅調に推移する見込み			

11) その他

(単位：億円)

	2015/3期			2014/3期 下半期実績
	上半期	下半期	通期予想	
売上高	538	855	1,394	412
セグメント利益	7	16	23	13
概況	・ 日通NECロジスティクス社が、第3四半期から連結子会社となる予定であることから、大幅な増収を見込む			

IV. 2015年3月期通期の業績予想

C. 外部要因の前提

	下半期 連結業績への影響	前提条件
燃油費単価変動 による影響	燃油費 Δ 2.5億円 (費用減)	(前期年間平均) 軽油 : 118.55円/ℓ (114.92円) ガソリン : 153.37円/ℓ (147.21円) 船舶重油 : 70.63円/ℓ (71.24円) 使用量は前年と同量と想定
為替による影響	売上高 + 54.5億円 営業利益 + 0.4億円	(前期年間平均 ^(※)) USD : 102.50円 (97.65円) EUR : 141.00円 (129.68円) HKD : 13.20円 (12.59円) RMB : 16.80円 (15.91円)

(※) 年間為替レートは参考値。決算では四半期平均レートを、現地通貨ベースの四半期実績に適用している。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。